

# 人に伝える 〈やさしい日本語〉

一橋大学国際教育交流センター教授 庵 功雄

[isaoiori@courante.plala.or.jp](mailto:isaoiori@courante.plala.or.jp)

<http://www12.plala.or.jp/isaoiori/>

# 1. 日本社会で急増する外国人

- ▶ 日本に住む外国人の増加
- ▶ <https://vdata.nikkei.com/newsgraphics/dependence-on-foreign-workers/>（日本経済新聞電子版2018.8.2。外国人依存度、業種・都道府県ランキング）

## 2. 日本が「移民」を受け入れるとすれば －「ことば」から考える－

### ▶ 外国人の増加

- ▶ (背景) 人材移動のグローバル化、
- ▶ 日本の少子高齢化、
- ▶ 生産年齢人口（15～64歳）の減少
- ▶ →海外に成功の場を求める外国人と日本社会の要請の方向性が一致
- ▶ 「我々は労働力を呼んだが、やってきたのは人間だった」（スイスの作家マックス・フリッシュ）
- ▶ →この人たちが日本で自己実現できる可能性を保証する必要性
- ▶ → **〈やさしい日本語〉** を用いてこの問題に取り組む

### 3. 〈やさしい日本語〉 前史

- ▶ [漢字廃止の] 時節ヲ待ツトテ唯手ヲ空フシテ待ツ可キニモ非ザレバ、今ヨリ次第ニ漢字ヲ廃スルノ用意專一ナル可シ其用意トハ文章ヲ書クニ。ムツカシキ漢字ヲバ成ル丈ケ用ヒザルヤウ心掛ルコトナリ。ムツカシキ字ヲサヘ用ヒザレバ、漢字ノ數ハ二千カ三千ニテ澤山ナル可シ此書三冊ニ漢字ヲ用ヒタル言葉ノ數。僅二千ニ足ラザレドモ、一ト通りノ用便ニハ差支ナシ。コレニ由テ考レバ、漢字ヲ交ヘ用ルトテ左マデ學者ノ骨折ニモアラズ唯古ノ儒者流儀ニ倣テ妄ニ、難キ字ヲ用ヒザルヤウ心掛ルコト緊要ナルノミ。故サラニ難文ヲ好ミ其稽古ノタメニトテ。漢籍ノ素讀ナドヲ以テ子供ヲ窘ルハ。無益ノ戯ト云テ可ナリ
- ▶ (福沢諭吉1873 (明治6) 「文字之教端書」 。下線庵)

### 3. 〈やさしい日本語〉 前史

#### ▶ 簡約日本語（野元菊雄）

朝日新聞（1988.2.26 夕刊）

〈書き換え前〉まず北風が強く吹き始めた。しかし北風が強く吹けば吹くほど、旅人はマントにくるまるのだった。遂（つい）に北風は、彼からマントを脱がせるのをあきらめた。

→〈簡約日本語〉まず北の風が強く吹き始めました。しかし北の風が強く吹きますと吹きますほど、旅行をします人は、上に着ますものを強く体につけました。とうとう北の風は彼から上に着ますものを脱ぎさせますことをやめませんとなりませんでした。

### 3. 〈やさしい日本語〉 前史

- ▶ 減災のための〈やさしい日本語〉
- ▶ 阪神淡路大震災（1995.1.17）
- ▶ 日本語も英語もできない外国人が復興の過程で二重に被災
- ▶ →簡略化された日本語で情報を提供する必要性
- ▶ →「やさしい日本語」（佐藤2004）

### 3. 〈やさしい日本語〉 前史

#### 減災のための「やさしい日本語」 (松田ほか2000)

##### A 〈原文〉 (理解率30%)

けさ5時46分ごろ、兵庫県の淡路島付近を震源とするマグニチュード7.2の直下型の大きな地震があり、神戸と洲本で震度6を記録するなど、近畿地方を中心に広い範囲で、強い揺れに見舞われました。

##### B 〈言い換え文〉 (理解率90%)

今日、朝、5時46分ごろ、兵庫、大阪、などで、とても大きい、強い地震がありました。地震の中心は、兵庫県の淡路島の近くです。地震の強さは、神戸市、洲本市で、震度が6でした。

## 4. 外国人への情報提供と 〈やさしい日本語〉

### ▶ 阪神淡路大震災時の掲示

▶ (1) 「容器をご持参の上、中央公園にご参集ください」

▶ →非漢字圏の一般の外国人には「中央公園」以外は理解不可能

▶ い も ちゅうおうこうえん あつ

▶ (1) ' 「入れるものを持って、中央公園に集まってください」



## 4. 外国人への情報提供と 〈やさしい日本語〉

- ▶ 災害時から平時へ
- ▶ 外国人への情報提供として、平時も重要
- ▶ →平時における外国人への情報提供を研究
- ▶ →われわれのグループの研究
- ▶ → 〈やさしい日本語〉

## 4. 外国人への情報提供と 〈やさしい日本語〉

- ▶ 公的文書の書き換え
- ▶ 保育園の入園規定
  - ▶ (2) 1. 昼間に居宅外で労働することを常態としている場合
  - ▶ 2. 昼間に居宅内で乳幼児と離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としている場合
  - ▶ 3. 妊娠中であるか又は出産後間がない場合（岩田2014）
- ▶ →外国人でなくとも難しい
  - ▶ (2) ' 1. 昼、いつも外で働いている場合
  - ▶ 2. 昼、いつも赤ちゃんと離れた場所で仕事をしている場合
  - ▶ 3. 妊娠しているか、赤ちゃんを産んでから時間が経っていない場合
- ▶ →詳しくは、岩田（2016）参照

## 5. 外国人へのコミュニケーションと 〈やさしい日本語〉

- ▶ 話しことばにおける言い換え（柳田2013, 2015）
- ▶ 接触場面（日本語母語話者と非母語話者が交流する場面）における日本語母語話者の言語行動
- ▶ 経験が豊富な日本語母語話者の特徴
  - ▶ (3) a. 文を短く, 終わりを明確にする
  - ▶ b. 理解しているかどうか確認する
  - ▶ c. 積極的にことばを言い換える

## 5. 外国人へのコミュニケーションと〈やさしい日本語〉

### ▶ 話しことばにおける言い換え（柳田2013, 2015）

#### ▶ 経験が豊富な日本語母語話者の特徴

▶ (4) 北島：それで、で何か試験を受ける。それで問題用紙と解答用紙が渡されてる。

▶ □ラ：あ、

▶ 北島：で、おそらく緑のが問題用紙で、 □ラ：ん。

▶ 北島：白が解答用紙。 □ラ：はい。

▶ 北島：わか、そこまではよろしいですね？ ← □ラ：あ、はいはい。

▶ 北島：で、ミスターま、み、み、みなさんおんなじようなところに、おんなじ、  
▶ みんなの席に、同じようなものが配られてて、

▶ □ラ：はい。

▶ 北島：みんな、試験を開始すると。で隣の人たちがこうま、緑の紙をみるわけですね。

▶ □ラ：あ、はい。

▶ 北島：で、ミスタービーンももう、ま、まわりが試験を始めたんで、見てみると、  
▶ そうすと何も書いてない。

## 5. 外国人へのコミュニケーションと 〈やさしい日本語〉

### ▶ 話しことばにおける言い換え（柳田2013, 2015）

#### ▶ 経験が少ない日本語母語話者の特徴

- ▶ (5) 南田：っと前半はー，こうし，試験の場面，テストの場面でー， 金：はい。
- ▶ 南田：それでー，ミスタービーンはー， 金：うん。
- ▶ 南田：なにをやったらいいかまったくわかんなくてー， 金：はい。
- ▶ 南田：んで，隣の人ーの，見て，まねようとしてて， 金：ああ。
- ▶ 南田：で，隣，の人を見てるんだけど， 金：はい。
- ▶ 南田：えーと，もう隣の人がスラスラスラスラやってー， 金：はい。
- ▶ 南田：それをこう，のぞこう，としてる。 (柳田2013)

## 6. 〈やさしい日本語〉の2つの側面

居場所作りのための〈やさしい日本語〉

→主に成人を対象

バイパスとしての〈やさしい日本語〉

→外国にルーツを持つ子どもたち、ろう児を対象

## 7. 居場所作りのための〈やさしい日本語〉

- ▶ 新来の定住外国人にとって最も重要なこと
- ▶ →日本を「居場所」だと感じられること
- ▶ →母語で言えることを日本語でも言えるようになること（イ2013）

# 7. 居場所作りのための〈やさしい日本語〉

## 居場所作りのための〈やさしい日本語〉の3つの側面

1. 初期日本語教育の公的保障の対象としての〈やさしい日本語〉
2. 地域社会の共通言語としての〈やさしい日本語〉
3. 地域型初級としての〈やさしい日本語〉



## 7. 居場所作りのための〈やさしい日本語〉

### 7.1 初期日本語教育の公的保障の対象としての〈やさしい日本語〉

- ✓ 定住外国人が日本で生きていくのに必要な最低限の日本語教育を、公費により、プロの手で行うことが必要
- ✓ こうした初期日本語教育の公的保障の対象となる日本語を、本研究における〈やさしい日本語〉と定義する
- ✓ →公的文書の書き換え
- ✓ NHKの[News Web Easy](#)

# 7. 居場所作りのための〈やさしい日本語〉

## 7.2 地域社会における共通言語としての〈やさしい日本語〉

〈これまで〉

外国人側に一方的に日本語習得を要求

〈これから〉

日本語母語話者〈受け入れ側の日本人〉

↓ コード（文法、語彙）の制限、

日本語から日本語への翻訳

**〈やさしい日本語〉（地域社会における共通言語）**

↑ ミニマムの文法（Step1, 2）と語彙の習得

日本語ゼロビギナー〈生活者としての外国人〉

→実現するか否かは日本語母語話者の意識次第

## 7. 居場所作りのための〈やさしい日本語〉

### 7.3 「地域型初級」としての〈やさしい日本語〉

学校型日本語教育と地域型日本語教育（尾崎2004）

- ・「学校型」における「初級」の目安は300時間
- ・「地域型」の標準は週2時間→「初級」を3年？

	学校型	地域型
参加者間の関係	教師－学生（契約関係）	学び合い（cf. 庵2013）
外国人のビザ	留学ビザ	就労ビザ（家族滞在ビザ）
初級の標準時間数	300時間（旧JLPT3級） 集中予備教育	週2時間

→地域型日本語教育の実情に合った「初級」（「**地域型初級**」）の必要性

## 7. 居場所作りのための〈やさしい日本語〉

### 7.3 「地域型初級」としての〈やさしい日本語〉

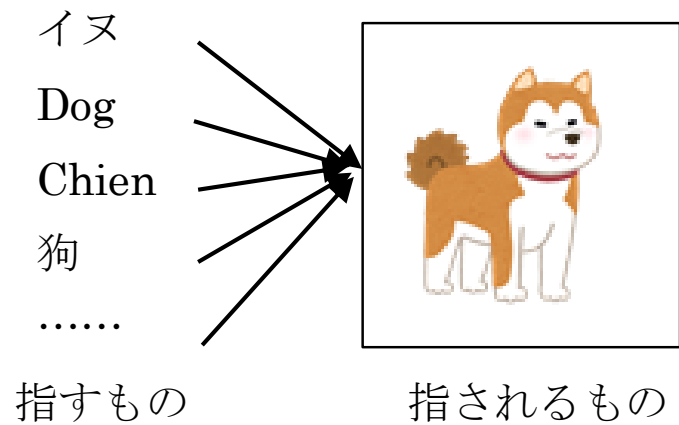
- ▶ 学校型日本語教育の「初級」は、地域型日本語教育にとっては「重い」
- ▶ 地域型の実情に合った「初級」（「地域型初級」）を考える必要がある
- ▶ →「母語でなら言えることを日本語でも言える」ようにする
- ▶ ←外国人が少ない材料で能動的に自分が言いたいことを日本語で表現
- ▶ できることを目指す（イ2013）
- ▶ →**ミニマムの文法**としてのStep1, Step2（cf. 庵2015a）
- ▶ →『**にほんごこれだけ！1, 2**』

## 8. バイパスとしての〈やさしい日本語〉

- ▶ 外国にルーツを持つ子どもたちに対する日本語教育
- ▶ →「まっとうに努力すれば、日本人の子どもたちと対等に競争できる」ようになること（社会的流動性の保障）を目指す
- ▶ →このことを抜きに移民の受け入れが進むと、日本国内に「階層の固定化」が生じ、潜在的な社会的不安定要因になる

## 8. バイパスとしての〈やさしい日本語〉

- ▶ 漢字の問題
- ▶ 言語（記号）の恣意性



## 8. バイパスとしての〈やさしい日本語〉

- ▶ 外国にルーツを持つ子どもたちに対する日本語教育
- ▶ 漢字の問題
- ▶ <日本人の子どもたち>
- ▶ 「いぬ、いえ、がっこう」（発音）と意味（指示対象）の関係はわかっている、ひらがなでも書ける
- ▶ →学習するのは漢字で書くことだけ
- ▶ <外国にルーツを持つ子どもたち>
- ▶ 「いぬ、いえ、がっこう」（発音）と意味（指示対象）の関係から学ぶ必要がある
- ▶ →日本の漢字には音読みと訓読みがあるのが普通

## 8. バイパスとしての〈やさしい日本語〉

- ▶ 外国にルーツを持つ子どもたちに対する日本語教育
- ▶ 漢字の問題
- ▶ 〈外国にルーツを持つ子どもたち〉
- ▶ 「いぬ、いえ、がっこう」（発音）と意味（指示対象）の関係から学ぶ必要がある
- ▶ →小学校で習得すべき漢字は約1000字
- ▶ ←アラビア文字は28字
- ▶ →日本の漢字には音読みと訓読みがあるのが普通
- ▶ →ごく短期間で身につけなければならない
- ▶ ←高校受験（高校進学率約30%？）
- ▶ →新しい漢字シラバスが必要（cf. 庵・早川2017）



## 8. バイパスとしての〈やさしい日本語〉

- ▶ 外国にルーツを持つ子どもたちに対する日本語教育
- ▶ 彼／彼女たちと日本人の子どもたちとの間には、スタート時点で大きな差がある
- ▶ 日常言語（BICS）は習得できるが、学習言語（CALP）は習得できない（バトラー2011）という問題もある
- ▶ →とりあえず上級まで早く行ける「バイパス」が必要
- ▶ →新しい文法シラバス（庵2015b）+新しい漢字シラバス
- ▶ →バイパスとしての〈やさしい日本語〉

## 8. バイパスとしての〈やさしい日本語〉

### ▶ 「ろう者の祈り」 (中島2017)

- ▶ ろう学校に通った彼は、泣くほど日本語を勉強しログイン前の続きた。でも、尊敬語や謙譲語の使い分けや助詞の使い方など、理解できないことが残った。
- ▶ 勉強をがんばって障害者の受け入れを進めている大学に進む。就職活動をしたが、思い通りにいかなかった。卒業して故郷に帰る。
- ▶ ある職場でパートを始めた。その日の仕事は紙に書かれ、口頭で説明される。口の形を、懸命に読みとった。
- ▶ そこまでは良かった。
- ▶ わからないことを書いて質問すると、周りの表情がさげすみに変わった。
- ▶ 「おまえ、ほんとうに大学を出たのか？」
- ▶ **書いた文章が、少しおかしかったらしい。**それからというもの、一日中むごい言葉を浴びせられた。何を言っているかは口の形でわかる。耐える日々が続く。笑うことを忘れた。
- ▶ 〈ぼくに生きる意味はあるの？〉
- ▶ ろう者の日本手話では助詞を使わないことがある。だから、「仕事が終わらせる」などと、日本語としては少し変な文を書くこともある。**ろう者にとって、日本語は第2言語だからだ。**日本の聴者のどれだけが、パーフェクトな英語を話すことができるだろうか。それと同じことなのである。(後略)

## 8. バイパスとしての〈やさしい日本語〉

- ▶ ろう者についての「誤解」
- ▶ ろう者の第一言語は「日本手話」
- ▶ ろう者にとって「日本語」は第二言語
- ▶ →聴者にとっての「英語」と同じ
- ▶ ろう者の日本手話では助詞を使わないことがある。だから、「仕事が終わらせる」などと、日本語としては少し変な文を書くこともある。**ろう者にとって、日本語は第2言語**だからだ。日本の聴者のどれだけが、パーフェクトな英語を話すことができるだろうか。それと同じことなのである。
- ▶ →このことが認識されるだけで、ろう者の「生きづらさ」ははるかに改善されるはず

# 8. ろう児に対する日本語教育

## 8.2 ろう児に対する日本語教育

- ▶ 「話す、聞く」は不要
- ▶ →習得すべきは「書記日本語」
- ▶ 「音声なしでは言語は習得できない」のか？
- ▶ →読み書きだけなら可能
- ▶ ←日本の漢文読み下し（古代日本人は、古代中国語を音声として理解できたわけではない）

## 9. 日本語母語話者にとっての 〈やさしい日本語〉

- ▶ 日本語表現の鏡としての〈やさしい日本語〉
- ▶ 失語症：言語学で古くから研究されている分野
- ▶ ←失語症の患者を観察することで脳のどの部位でどのような言語機能が司られているかがわかる
- ▶ →有標な存在が真理を照らし出す（健常者（無標）のデータから同様の結果を導くことはできない）
- ▶ →「外国人の日本語」も同様に「有標」な（≡特別な）存在であるために、同様の価値を持つ

## 9. 日本語母語話者にとっての 〈やさしい日本語〉

- ▶ 日本語表現の鏡としての〈やさしい日本語〉
- ▶ 日本語母語話者が日本語母語を用いて行う上で最も重要な言語活動：
  - ▶ **自分だけが知っていることを相手に伝えて相手を自分の意見に同意させる**
    - ▶ 大学：論文、口頭発表
    - ▶ 企業：就活、（各種）プレゼン
    - ▶ 一般社会：自治会の交渉
  - ▶ →外国人を相手にロールプレイを行うと、外国人の日本語が「有標」であるために、外国人との対話場面（接触場面）が真正さ（authenticity）を持つ
  - ▶ →日本語母語話者の「**コミュニケーション力**」を高める
  - ▶ →**日本語表現の鏡としての〈やさしい日本語〉**

## 9. 日本語母語話者にとっての 〈やさしい日本語〉

- ▶ 「公平な耳」の必要性
- ▶ (4) 日本の大手自動車会社の工場長がタイからの技術研修生に会った時、「わたし...じどうチャ...」などと話しているのを聞いて、引率の日本人に、この人達はほんとうに仕事ができるのか」と心配そうに言ったというが、これなどは、「わたし」や「じどうチャ」などという発音の仕方が、日本語では幼児の話し方に似ているところから、勝手に人格や能力の判断にまで結び付けて出された反応であったとまずは解釈できよう。(土岐1994)
- ▶ →音の区切り目の違い (←言語の恣意性)
- ▶ →タイ語では「し」と「ち」を区別しない一方、日本語にはその区別がある
- ▶ →それだけのことだが、それが差別につながっている
- ▶ ←「差別」は「区別」に由来する

## 9. 日本語母語話者にとっての 〈やさしい日本語〉

- ▶ 「公平な耳」の必要性
- ▶ 音の区切り目の違い（←言語の恣意性）
- ▶ →タイ語では「し」と「ち」を区別しない一方、日本語にはその区別がある
- ▶ →日本語には[si]と[ji]の区別がない
- ▶ →「シーシーズアシー」と”She sees a sea.”
- ▶ →「方言」や「外国人の日本語」を等しく日本語のバリエーションとして聞ける「公平な耳」（土岐1994）を持つことが重要



## 10. 「バリアフリー」は誰のため？

- ▶ **バリアフリー**：全ての人々が社会に参加できるための手段（あべ2015）
- ▶ →「障害者」というマイノリティのためのものと考えられがちで、そのために、「バリアフリー」のための予算が付きにくいといった事例も見られる
- ▶ →人はけがをしたり年をとったりすれば移動困難者になる
- ▶ →「健常者」と「障害者」は一時的な違いに過ぎず、だれもが「障害者」になる可能性を持っている
- ▶ →「バリアフリー」は「マイノリティであるだれか」のためのものではなく、「**いつかマイノリティになるかもしれない私**」のために必要なものである

## 10. 「バリアフリー」は誰のため？

- ▶ バリアフリー：全ての人々が社会に参加できるための手段（あべ2015）
- ▶ → 「バリアフリー」は「マイノリティであるだけか」のためのものではなく、「いつかマイノリティになるかもしれない私」のために必要なものである
- ▶ → 「**情けは人のためならず**」の本来の意味（情けは他人のためのものではなく、自分自身のためのものである）
- ▶ → 〈やさしい日本語〉の理念を体現

# 11. マインドとしての〈やさしい日本語〉

- ▶ 「技術」より重要なこと
- ▶ 〈やさしい日本語〉はマイノリティのためのものであるという認識が強く、ともすれば、〈やさしい日本語〉は書き換えや言い換えの「技術」に関する問題と認識されがち
- ▶ 公的文書やNews Web Easyの書き換えなどをプロが行う場合には、一定の制約の下で書き換えることが重要
- ▶ 在住外国人と一般の日本語母語話者の間における〈やさしい日本語〉ではこうした技術的な面を意識する必要はない
- ▶ 重要なのは、相手が何を言おうとしているのかを理解し、自分が相手に何を伝えたいのかを常に意識しながら、日本語表現を書き換えたり言い換えたりすること
- ▶ そうしたことを意識しながら日本語表現を行うことが、その人自身の日本語のコミュニケーション能力を高めることにつながる

# 11. マインドとしての〈やさしい日本語〉

- ▶ 「お互いさま」の気持ち
- ▶ 〈やさしい日本語〉にとって重要なのは、「技術」ではなく、考え方（マインド）
- ▶ 「マインド」を一言で言うと、「お互いさま」の気持ち
- ▶ 「わたし」「じどうチャ」といった発音を笑ってしまう気持ちが日本語母語話者には潜在的に存在する
- ▶ それは、[si]と[ji]の区別ができないことを英語母語話者に笑われるのと同じ
- ▶ 「わたし」という発音を笑いそうになったときに、もし、一歩立ち止まって、「自分が同じことをされたらどう感じるだろうか」と考えることができれば、おそらく笑うことはない
- ▶ 重要なのは、「相手の発話を理解しようとする」とことと、「相手にわかるように伝えようとする」とこと
- ▶ →このことが日本語母語話者の「コミュニケーション力」を高める
- ▶ →「多文化共生」の第一歩

▶ 参考文献 (主なもの)

- ▶ あべやすし (2015) 『ことばのバリアフリー』 生活書院
- ▶ 庵 功雄 (2013) 『日本語教育、日本語学の「次の一手」』 くろしお出版
- ▶ 庵 功雄 (2016) 『やさしい日本語—多文化共生社会へ』 岩波新書
- ▶ 庵 功雄 (2018) 「日本語教育における漢字教育に求められるもの」 『ことばと文字』 10、くろしお出版
- ▶ 庵 功雄・イ・ヨンスク・森 篤嗣編 (2013) 『「やさしい日本語」は何を指すか』 ココ出版
- ▶ 庵 功雄監修 (2010, 2011) 『にほんごこれだけ! 1, 2』 ココ出版
- ▶ イ・ヨンスク (2013) 「日本語教育が「外国人対策」の枠組みを脱するために」 庵・イ・森編 (2013) 所収
- ▶ 岩田一成 (2010) 「言語サービスにおける英語志向」 『社会言語科学』 13-1
- ▶ 岩田一成 (2013) 「「やさしい日本語」の歴史」 庵・イ・森編 (2013) 所収
- ▶ 岩田一成 (2016) 『読み手に伝わる公用文』 大修館書店
- ▶ 木村晴美 (2011) 『日本手話と日本語対応手話 (手指日本語) —間にある「深い谷」』 生活書院
- ▶ 佐藤和之 (2004) 「災害時の言語表現を考える」 『日本語学』 23-8
- ▶ 土岐 哲 (1994) 「聞き手の国際化」 『日本語学』 13-13
- ▶ 中島 隆 (2017) 『ろう者の祈り』 朝日新聞出版
- ▶ 西日本新聞社編 (2017) 『新移民時代』 明石書店
- ▶ 福沢諭吉 (1873) 『文字之教端書』
- ▶ 松田陽子・前田理佳子・佐藤和之 (2000) 「災害時の外国人に対する情報提供のための日本語表現とその有効性に関する試論」 『日本語科学』 7
- ▶ 柳田直美 (2013) 「「やさしい日本語」と接触場面」 庵・イ・森編 (2013) 所収
- ▶ 柳田直美 (2015) 『接触場面における母語話者のコミュニケーション方略 情報やりとり方略の学習に着目して』 ココ出版
- ▶ lori, Isao (2016) "The enterprise of *Yasashii Nihongo*: For a sustainable multicultural society", 『人文・自然研究』 10、一橋大学
- ▶ lori, Isao & Oka, Norie (2016) "A preliminary study on teaching written Japanese to deaf children", *Hitotsubashi Journal of Arts and Sciences*. 57-1、一橋大学

ご清聴ありがとうございました